

オリパラ便り



平成31年2月12日(火)
第7号

日本の伝統・文化を学ぶ

2019年がスタートして、1ヶ月が過ぎました。オリンピック・パラリンピックの開催が本当に間近に迫ってきました。2019年最初の「オリパラ便り」では日本人としての伝統・文化に誇りもち、日本の良さ発信することができる生徒の育成を目指す本校の取り組みを紹介します。

保健体育科授業『武道・柔道』(1・2年生)

柔道は「柔よく剛を制す」といわれるとおり、タイミングやしなやかさ、時には相手の力を利用して相手を倒すという、スポーツとしてのおもしろさに加え、「礼儀を重んじ、相手を尊重し、公正な態度をとることが勝敗よりも重要である」という精神に感銘を受けた外国人も多い世界中で大人気のスポーツです。現在、1・2年生の授業では、道着の着方・たたみ方や、立礼・座礼などの礼法に加え、けがを防止するための受け身を学んでいます。「膝車」「体落とし」などの立ち技にも挑戦中です。

さて、ここで「柔道や日本の伝統・文化に関するクイズ」を5問出題します！多くの外国人を迎える来年、みなさんは日本人として、しっかり答えられますか？また、これらのことを外国の方々に丁寧に説明できますか？

柔道から学ぶ！日本の伝統・文化クイズ

- Q 1. 道着や着物を着る場合は、左右どちらのえりが上側になりますか？
- Q 2. Q 1を左右反対にしたり、帯の結び目を縦結びにするのはどんなときでしょうか？
- Q 3. 一般的な住宅の和室における畳の敷き方のルールとはなんですか？
- Q 4. 正座をするときには、左右どちらの足から膝をつきますか？
- Q 5. Q 4の足から膝をつく理由はなんですか？

どうでしょうか・・・自信をもって答えられましたか？

保護者の方々も一緒にお考えください！※解答は一番下です！

※写真は1年生柔道の授業です。ALTのロッドさんも参加しました！→



『和菓子作り体験』(1年生)

1月24日(木)25日(金)に、1年生を対象に和菓子体験が行われました。講師は「和菓子教育をすすめる会」代表の松井みどりさんと和菓子司松屋店主の松川利和さんです。今回の体験では、白あんと求肥(餅)を練った「練り切り」を作りました。自然美しさ、季節の移ろいを表現し楽しむということがねらいでした。今回の作品は、練り切りで「薔薇」を作りました。

松川さんの美しい模範技披露を見た後、生徒も挑戦しましたが、じっくり丁寧に作るあまり、手の平の温度が材料に伝わってべとべとになってしまっている光景が見られました。スプーンを使って花びらを表現することで、それぞれ個性の溢れる作品が完成していました。本校ALTのRod先生も1年D組と一緒に体験に参加しました。松井さん、松川さん、アシスタントとしてご協力いただいた保護者のみなさま、ありがとうございました。



クイズ解答 Q 1 : 左側が上になる。このことを「右前」という。自分から見て右えりが「手前」という意味。 Q 2 : 死者を送るとき。わざと反対に着物を着させる。死後の世界は現世と

正反対と考えられていたという説あり。 Q 3 : 畳の合わせ目を十字にしない。「祝儀敷」きという。昔は葬儀など、縁起の悪い時には「不祝儀敷き」にしていた。 Q 4 : 左足。

Q 5 : 左の腰には刀があったから。「座る途中で抜けるように左足から」という説がある。ちなみに武家の男子に左利きは存在しないため、右腰に刀を刺しているお侍はいない。